

「こうあるべき」ほぐしシート ガイド

定期相談を息苦しいものにしてしまう、教師自身がもちやすい「定期相談はこうあるべき」を、柔軟に見つめ直します。



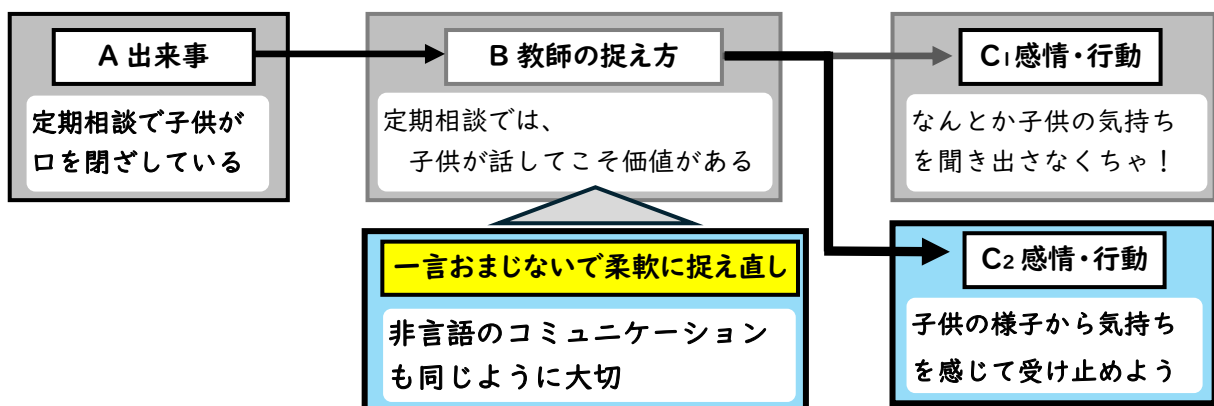
あなたの「こうあるべき」の強さは？

- ① あなたにもある？教師がもちやすい「定期相談はこうあるべき」。
- ② 「こうあるべき」が強いと定期相談の難しさは、より大きく感じます。

「悩みや困りごとを子供の口から聞きたい」「この場で問題を把握し対処したい」など、教師がもちやすい捉えをSTEPⅠの①～⑤に整理しました。

STEPⅠの「こうあるべき」が強すぎると、そのとおりにならないときに、子供に寄り添えなくなったり、教師も子供も共に息苦しくなったりします。

- ③ 教師の「定期相談はこうあるべき」を柔軟に見直してみよう！



「こうあるべき」をほどいていくことが子供に寄り添った定期相談の第一歩